

盛岡市クリーンセンター

公害防止対策協議会だより

公害防止対策協議会事務局
(盛岡市クリーンセンター内)

連絡先：(019)663-7153

平成27年3月 **33号**

今回の協議会だよりでは、公害防止対策協議会と公害監視委員会の会議内容、平成26年度上半期環境モニタリング結果、調査研究事業の報告等についてお知らせします。

公害防止対策協議会の会議内容

第59回(平成27年1月16日)

- 松園定点観測所の基準値超過について(周辺での花火によるもの)
- 平成26年度上半期環境モニタリング結果について
- 公害監視委員会委員辞意による改選手続きについて
- 平成26年度協議会調査研究事業の報告について

公害監視委員会の会議内容

第37回(平成26年12月25日)

- 一酸化炭素濃度瞬時値のピークについて
- 飛灰及び主灰中重金属類試験結果について
- 平成27年度プラント設備改修工事について
- 松園定点観測所の基準値超過について(周辺での花火によるもの)
- 平成26年度上半期環境モニタリング結果について

それぞれ、排ガス基準の遵守状況および周辺環境のモニタリング結果については、問題が無かったことを確認しました。

松園定点観測所の基準値超過とその原因について

平成26年9月7日(日)午後8時、松園定点観測所において浮遊粒子状物質濃度(SPM)が基準値 $0.200\text{mg}/\text{m}^3$ を超過し、 $0.309\text{mg}/\text{m}^3$ を示しました。

クリーンセンターでは直ちに運転状況等の確認を行いました。測定装置の動作状況およびクリーンセンターの排ガス濃度等に異常はなく、現場を確認したところ観測所付近で花火を使用した痕跡を発見しました。この花火が原因となって基準値超過に到ったものと思われ、クリーンセンターが原因のものではなかったとの報告を受け、協議会としても承認しました。

松園定点観測所は、北松園小学校向かいの「太陽の広場」内にあり、測定用大気取り入れ口が、もともと広場の東屋に面した側に向いていたため、周辺の活動の影響を受けやすい構造でした。そこで昨年度、取入れ口を移設し向きを変える措置を行いました。その結果、周辺の花火等を原因とする基準値超過は、今年度は今回の一回のみであり、周辺の草刈等の作業を原因とするものも含め複数回発生していた昨年度までに比べると、明らかに回数が少なくなっており、移設の効果が現れているものと思われます。

なお盛岡市内の公園では、花火の使用は禁止となっておりますので、住民の皆さんもご協力をお願いします。

平成26年度協議会調査研究事業の報告について

今年度の調査研究事業は、家電リサイクルを含むエコタウンの実例調査をするため、平成26年10月23日に、あきたエコタウンセンター及び(株)エコリサイクルを視察しました。

1 エコタウンについて

産業から出る廃棄物を他の分野の原料として再利用して廃棄物ゼロを目指すことを基本に、自然環境と調和した町づくりが進められている地域のことで、全国に26地域あり、秋田県北部エコタウンは平成11年11月13日付けで国から承認を受けています。



2 エコタウン内の金属リサイクルについて

かつて鉱山が栄えていた時代の金属技術は、現在では都市鉱山の金属リサイクルに生かされています。エコタウン内の小坂製錬(株)では、平成20年にリサイクル原料対応型の精錬設備であるTSL炉を導入し、携帯電話及び廃基盤等から銅や鉛等のベースメタルに加え、金、銀等の貴金属、セレンやアンチモンなど多くのレアメタルを回収するシステムを整備しており、銀及びピスマスの生産量は国内トップクラスです。



3 最終処分場について

秋田県内外の一般廃棄物や産業廃棄物の焼却灰を受け入れているグリーンフィル小坂(株)では、管理型最終処分場を持っており、埋立容量は東京ドームの2.2倍の270万㎡で、現在10万㎡/年のペースで埋立されています。また、浸出水が環境中に排出されないように、埋立場の底面部は粘土層と遮水シートとの二重構造により水が漏れるのを防ぐとともに、水処理施設で無害化処理を施しています。さらに、GPSにより、「いつ、どこに、何を、どれだけ」埋めたかも管理できるよう最先端のシステムを取り入れています。

4 (株)エコリサイクルについて

DOWAグループ7社と家電製品メーカー5社が共同で出資した家電の中間処理を行う会社です。回収された家電・OA機器等を職員が手作業で分解した後、破碎・磁力選別設備でプラスチックと金属に分別するという処理の流れになっています。メーカーが異なる多種多様な家電の分解は、全て機械で行うのは難しいので、必ず人の手が入る工程となっています。また、冷蔵庫の断熱材フロンは、ガスボンベに回収し、エコシステム秋田(株)とパイプラインで結び、焼却熱で炭酸ガスと水に分解するなど、環境への配慮を徹底しています。

回収された金、銀、銅及び鉛等の金属は、小坂製錬(株)で精錬され、リサイクルされます。それ以外のステンレス、アルミ、回収プラスチック及びパネルガラスはスクラップ市場を経て、再度家電メーカーで家電等の部材として再利用されます。再利用できないプラスチックについては、エコシステム秋田(株)で焼却の燃料として使用されます。



5 まとめ

秋田県北部エコタウンでは、金属産業で培った技術をリサイクルに生かすのみならず、林業や農業から出る廃棄物の処理にも取り組むなど、地域が一体となった総合的な資源循環型のまちづくりが進められていました。

都市鉱山は、金属資源のほとんどを輸入に頼っている我が国の、重要かつ貴重な資源です。盛岡市でも、平成25年度から小型家電の回収が始まりましたが、今回視察した秋田県北部エコタウンのように、取組みを発展させていきたいものだと感じました。

平成26年度上半期 環境モニタリング結果

クリーンセンター排ガスデータ 一覧表

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
ばいじん濃度 基準値 0.01g/Nm ³	1号炉	0.000	0.000	0.000	0.000	休炉	休炉
	2号炉	0.000	0.000	休炉	休炉	0.000	0.000
	3号炉	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
硫黄酸化物濃度 基準値 10ppm	1号炉	0.3 (1.0)	0.1 (0.7)	0.1 (0.7)	0.1 (0.3)	休炉	休炉
	2号炉	0.2 (0.7)	0.2 (0.3)	休炉	休炉	0.2 (0.6)	0.2 (0.5)
	3号炉	0.3 (0.4)	0.5 (0.8)	0.5 (1.0)	0.4 (0.9)	0.6 (0.9)	0.4 (0.9)
窒素酸化物濃度 基準値 100ppm	1号炉	64.0 (69.8)	66.3 (69.9)	64.3 (69.8)	65.7 (70.7)	休炉	休炉
	2号炉	67.2 (70.4)	69.1 (70.5)	休炉	休炉	61.7 (80.6)	62.8 (69.3)
	3号炉	61.1 (66.8)	62.8 (66.9)	61.9 (68.2)	59.5 (69.0)	60.9 (69.7)	63.4 (69.0)
塩化水素濃度 基準値 10ppm	1号炉	4.7 (5.9)	4.7 (7.9)	4.2 (5.3)	4.1 (5.3)	休炉	休炉
	2号炉	5.0 (6.0)	5.0 (5.8)	休炉	休炉	4.4 (5.4)	4.5 (5.8)
	3号炉	4.9 (5.3)	4.6 (5.2)	4.4 (5.3)	4.1 (5.2)	3.6 (4.6)	3.8 (5.1)

■：休炉の月ですが、数日間稼働した日があったので、その平均値を示しました。
表中、上段の数値は月平均値、下段括弧内の数値は月の1時間値の最高値を示します。

排ガス中のダイオキシン類濃度

焼却炉の煙突出口排ガス中のダイオキシン類濃度の測定結果は、次のとおりでした。
各焼却炉とも、安定燃焼が図られ基準値内の濃度でした。

焼却炉	1号炉	2号炉	3号炉
測定年月日	平成26年5月13日	平成26年9月10日	平成26年7月9日
ダイオキシン類濃度 (ng-TEQ/Nm ³)	0.000037	0.0037	0.0029

※ 基準値：0.1 ng-TEQ/Nm³